

2026

議会だより

ふさわ

第267号

12月定例会



10月11日に行われた「扶桑町議会小中学生のフリースピーチ」の参加者の皆さん

主な内容

- 特集(小中学生のフリースピーチ) P2 ~P3
- 12月定例会の概要 P4
- ここが聞きたい 12月定例会一般質問 P7 ~P13
- キラリ まち人 紹介 P14



水谷 朝飛さん

『ボランティア活動』

消防団や民生委員など、給料なしで働くボランティアの後継者がいないのが心配。感謝を広め、体験することで、将来後を継ぐ人が増えてほしいな。

『広島平和派遣を通して』

広島派遣で戦争の恐ろしさを学びました。平和の大切さを伝えるため、小中学生が戦争体験者の話を聞く機会と、派遣の参加人数を増やしてほしいな。



和田 愛梨さん



扶桑北中高木班

『守口大根の長旅』

扶桑町に人が集まるように、駅前を発展させたりイベントを開きたいです。そのためにお金が必要だから、世界一長い守口大根で町を元気にするプロジェクトを考えました。ご当地サイダーや4色盛りの漬物を作ったり、大谷選手と同じ長さという看板で宣伝して、興味を持ってもらえたたらと思います。

『スポフェス100』

扶桑町では運動する機会や世代間の交流も少ないので、みんなが楽しめる運動会『スポフェス100』を提案します。カローリングやボッチャなど、色々な競技でチームで協力して、運動と仲良しを増やし、課題を解決します。



扶桑北中青山班



六鹿 快音さん

『伝統や文化を大切にできる町』

地歌舞伎や養蚕業など、扶桑町の伝統や文化を大切に残していくたい。色々な世代の人と一緒に活動して、楽しみながら未来へ繋いでいける町になると嬉しいな。

『ごみのない美しい扶桑町に』

ごみ拾いを続けているけれど、このままでは町がごみ捨て場になりそうで心配です。ポイ捨て禁止の看板、厳しい罰金ルール、ごみ箱を増やして、美しい扶桑町を未来に自慢したいな。



川田 橙芽さん

10月11日開催 小中学生の フリースピーチ 扶桑町役場議場にて

扶桑町大好き ～町への想い語る～



塩尻 希帆さん

『華やかな街ふそう』

扶桑町がお花や芝生、蝶々がいっぱいの自然で華やかな街になってほしいな。今のいいところも残して、人が少し増えて、図書館に本がたくさんあると嬉しいな。

『きれいな町大さくせん』

みんなのごみ箱を置く、ポイ捨てがダメだとわかるポスターの作成、扶桑町のごみ拾い王を決める3つの作戦ができたら、扶桑町が日本一綺麗なまちを目指せると思います。



近藤 蒼唯さん



齊田 萌奈さん

『未来に向けて突き進もう！！』

地球温暖化など環境問題を楽しく学べる「未来科」を扶桑町の小中学校に作りたい。AIに負けない考え方や話し合う力をつけ、将来に役立つ勉強をしたいな。



山本 莉叶さん

『扶桑の未来を考える』

ひまわりや自然、優しい人がいる扶桑町が好き。でも、映画館や学習スペースが少ないから、図書館を楽しくしたり、お年寄りに優しい乗り物やロボットがいる便利な町になってほしいな。

「小中学生のフリースピーチ」を実施して
広報広聴部会長 近藤 裕

扶桑町議会広報広聴部会では、住民との信頼関係を構築するため、議会への認知、興味、関心、参画意識を高めるために毎年意見交換会を開催してきました。そして今年度は志向を変え「小中学生によるフリースピーチ」と銘打ち、児童・生徒さんに議場にて、自分が考える「扶桑町の未来について」発表していただき、貴重な経験ができたなど感謝のメールを数多くいただきました。これを受け部会では、来年度もこのスピーチを継続することに決定しましたので、より多くの応募を心よりお待ちしています。

12月定例会の概要

令和7年12月定例会は、11月28日から12月17日まで開催。今回の定例会では、一般会計補正予算・特別会計補正予算を始め、陳情等15案件の審議を行いました。

一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ1億6349万7千円追加し、137億2192万2千円となっています。主な内容は次のとおりです。

住民の安心・安全を守ります!



住宅対象侵入盗防犯対策補助金の申請実績が伸びているためです。

7474万円



障がい者の自立生活をサポートします!

【歳入】

▲4039万円

児童手当受給対象者に物価高応子育て応援手当として1人当たり、2万円を給付します。

主に介護給付費の居宅介護、訓練等給付費の就労継続支援B型とグループホームの利用者の増加によるものです。

一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出それぞれ1億2110万1千円を追加し、138億4302万3千円となっています。主な内容は次のとおりです。

物価高騰から子育て世帯を力強く支援します!

89万円

1億2110万円

応子育て応援手当として1人当たり、2万円を給付します。

【歳入】

1億3234万円
1億3234万円

介護認定者数の増加により、訪問介護や通所介護、短期入所生活介護が特に大きく増加していま

専決処分の報告①・②

2万円

校にて、児童が教室に接する廊下で床掃除を行っていたところ、同時に教室内から窓ガラスの拭き掃除を行っていた他の児童の力が加わり、窓本体が落下しました。児童の頭部にあたり負傷したことにより支払をした損害賠償額です。

介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ1億5025万2千円を追加し、31億4369万8千円となっています。主な内容は次のとおりです。

要介護者の日常生活を応援します!

1億3234万円

1億3234万円

扶桑町議会傍聴規則の一部改正扶桑町議会議員政治倫理条例の一部改正をしました。

(詳細はホームページをご覧ください。)

議会提出議案(第5・6号)



(扶桑東小体育館エアコン設置状況)

①扶桑東小学校体育館に設置する空調設備の室内機について、2階ギャラリーに吊り下げて設置するところ、設置箇所の奥行きが足りないことが判明したため、機器を取り付けるための架台12台分を追加します。

総務経済常任委員会

扶桑町道路占用料条例の一部を改正する条例

各常任委員会 こんなことを聞きました

令和7年度扶桑町一般会計 補正予算(第6号)

問 農業委員会一般事務費の減額は、委員の活動実績によるものか。

答 耕作放棄地を調査する活動実績によって、県が金額を配分し、委員報酬として支払いをする。



(耕作放棄地の様子)



(住宅対象侵入盗防犯補助金一例)

第2条中、町長の許可を受けたもの又は電線共同溝整備法第21条の規定により協議し、承認を受けたものに改めるとは、具体的に誰になるのか。

答 電線共同溝を占拠する中部電力などの電力会社やNTTなどの電気通信会社が該当し、電線共同溝整備法第21条の規定は、国が整備する電線の占用が該当する。

問 総務経済常任委員会への付託案件として、議案4件、陳情1件を審査しました。

令和7年度扶桑町介護保険特別会計補正予算(第2号)

問 居宅介護サービス等給付費の増加理由は。



(地歌舞伎メイク実演の様子)

福祉教育常任委員会

令和7年度扶桑町一般会計 補正予算(第6号)

問 文化会館一般事業費が1188万7千円であるが、上半期の事業内容は。

答 令和8年度上半期事業内容は、お話と実演で構成するふ

そう文化大学4公演、落語を始めとした古典芸能2公演、子育て世代の家族を対象とする

答 ファミリーコンサートなど。文化会館の特性を生かした事業ができるよう工夫していく。

問 居宅介護福祉用具購入住宅改修費負担金の増加は。

答 居宅介護サービスの住宅改修費の伸びは、現在まで52件の申請がある。



問 福祉教育常任委員会への付託案件として、議案7件を審査しました。

答 介護認定者数が年々増加しており、特に、サービスとしては、ヘルパー（訪問介護）、またデイサービス（短期入所生活ショートステイ）（短期入所生活介護）の伸びが非常に多くなっている。これは、認定者数の増加だけではなく、居宅介護サービスを利用する方の増加が必要であると考えられる。

令和7年第8回(12月)扶桑町議会定例会 議員別審議結果一覧表

○賛否が分かれた案件

議案等	会派・議員	議 決 結 果	桑政クラブ						新政クラブ			ふそう 立志会		日本共産党	公明党	無所属		
			市橋英男	伊藤猛	兼松伸行	近藤裕	澤田憲宏	杉浦敏男	間宮幹男	片野泰雅	千田勝文	高橋怜央	和田佳活	大河原光雄	丹羽友樹	荒木孝三	佐藤智恵子	山田惇起
◆議案																		
第95号	令和7年度扶桑町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	●	○	○
第96号	令和7年度扶桑町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	-	●	○	○
第97号	令和7年度扶桑町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	●	○	○

賛否状況 ○: 賛成 ●: 反対 -: 議長は採決に加わらない。※: 討論者

議決結果一覧は、扶桑町ホームページ(扶桑町議会)でご確認いただけます。

常任委員会 行政視察へ！

扶桑町議会には福祉教育常任委員会、総務経済常任委員会の2つの委員会があります。10月から11月にかけて、両委員会で行政視察に行ってきました。

扶桑町ホームページ
「委員会調査報告書」



市橋英男
福祉教育常任委員長より



私たち委員7名は、11月4・5日の2日間視察をしました。兵庫県小野市では「夢と希望の教育について」、大阪府大阪狭山市では「地域包括ケアシステム推進条例について」多くの学びを得ることができました。町政に生かせるよう、委員一同頑張ります。

間宮幹男
総務経済常任委員長より



私たち委員8名は、10月16・17日の2日間視察をしました。福井県鯖江市では「市民参加型まちづくりについて」、同県越前市では「空き家について」、学ばせていただける貴重な視察の機会をいただきました。引き続き学びを深めたいと思います。

一般質問

13議員が質問

扶桑町ホームページ
「一般質問録画配信」



扶桑町議会 一般質問
通告書一覧



生成AI展開の推進は

全職員に展開予定

ページ

澤田 憲宏	生成AI展開の推進は	7
片野 泰雅	オンライン化による役場の省スペース化は	8
杉浦 敏男	予算編成の重点項目と課題は	8
山田 悄起	小中学校の盗撮対策は	9
伊藤 猛	町道290号線の一部拡幅整備は	9
高橋 恵央	義務教育での登校渋り対策は	10
間宮 幹男	空き家対策の取り組みは	10
近藤 裕	巾下用排水路の調節池築造計画は	11
市橋 英男	ひとり暮らし高齢者の見守り支援は	11
荒木 孝三	難聴高齢者に対する対策は	12
千田 勝文	令和8年度予算編成の取り組みは	12
兼松 伸行	交番増設の考え方	13
大河原光雄	中学校部活動の地域展開は	13

問 自治体DX推進について本町の状況は。

答 総務部長 令和8年2月に切り替えの予定をしているシステム

問 環境整備とガイドラインの作成は。

答 総務部長 コモンズAーサービスを全職員に展開する予定であ

問 電子申請における注意事項など、すでにガイドラインを作成している。

答 総務部長 電子申請をより一層推進し、窓口業務についてもデジタル化を含めた業務の改善について検討する。また、電子決裁が可能となる文書管理システムの導入も検討し、ペーパーレス化の推進、事務負担の軽減を進めていきたい。

問 本町の生成AIの活用において利用と状況は。

答 総務部長 令和7年

た利用を開始している。年度より一部の職員向けにコモンズAーといふ生成Aーサービスを活用し、検証等を含め

成といった業務効率化に向けた取り組みを進めている。

問 本町の生成AIの

活用において利用と状況は。



(自治体DXの取り組みイメージ図(AI生成))

桑政クラブ
さわだ のりひろ
澤田 憲宏 議員



オンライン化による役場の省スペース化は

関係各課と連携し検討



新政クラブ
かたの たいが
片野 泰雅 議員



(オンライン化のイメージ画像)

問 介護保険認定調査業務の効率化を図るモバイル端末活用によるシステム導入状況はどうある。

答 健康福祉部長 国

要介護認定に關して国は、申請から認定までの期間を示しているが、実際の運用においては自治体ごとに差が生じているのが現状である。扶桑町における要介護申請から認定までの平均的な期間は約1ヶ月とされている。扶桑町の令和6年度申請日基準での期間は31・3日である。

問 要介護認定に關して国は、申請から認定までの期間を示しているが、実際の運用においては自治体ごとに差が生じているのが現状である。扶桑町における要介護申請から認定までの平均的な期間は約1ヶ月とされている。扶桑町の令和6年度申請日基準での期間は31・3日である。

答 健康福祉部長 扶桑町は現在導入されていないが、検討中である。

のようになつてゐるか、また今後の導入方針は。

答 総務部長 窓口手続きのオンライン化を進めることで窓口・事務スペースの縮減などを考えられるので、DX、事務改善、行政改革など、関係各課と連携して検討していく。

て、当局としての考え方も緩やかにするために、教育・子育て支援や、高齢者対策が必要では。

答 総務部長 全国的に人口減少は避けられない状況にあるが、将来にわたつて安心して暮らせる地域を維持していく必要がある。

答 総務部長 公共施設やインフラ施設の維持管理及び統廃合における計画的な予算化は。

持管理は、施設の耐用年数や経過年数を踏まえ、計画的な点検や修繕を行う予防保全型の維持管理に努める。施設の統廃合に向けた予算化は、高雄シルバーハウスをサングリーンハウスに集約し、高雄シルバーハウスの取り壊し工事について予算化していく。

予算編成の重点項目と課題は

安心して暮らせる地域を維持



桑政クラブ
すぎうら としお
杉浦 敏男 議員



問 介護保険認定調査業務の効率化を図るモバイル端末活用によるシステム導入状況はどうある。

答 健康福祉部長 国

「長期優良住宅等定住促進補助金」や「ごども誰でも通園制度の本格実施」、「妊婦のための支援給付金事業」など、子育て世帯の移住定住促進と子育て環境の充実に資する事業を進めていく。また、高齢者の外出促進を図る「チョイソソ」「ふそう」の

「長期優良住宅等定住促進補助金」や「ごども誰でも通園制度の本格実施」、「妊婦のための支援給付金事業」など、子育て世帯の移住定住促進と子育て環境の充

実に資する事業を進めている。また、高齢者の外出促進を図る「



(介護予防教室)

小中学校の盗撮対策は

校内環境の整備を徹底



無所属
やまだ あつき
山田 悅起 議員



問 学校でも子どもの居場所が脅かされる事態が発生している。名古屋市を中心に多くの逮捕者を出した盗撮問題、江南市で児童や保護者に説明なく隠しカメラが設置された問題が一例である。

これらを踏まえ、県内でも日進市やみよし市では独自の対策を打ち出した。本町はこの問題にどのように対応していくか。



(隠しカメラ(AI生成))

答 教育長 教員個人が所有しているスマートフォン等の端末で撮影は行わないこと、決められた機材で撮影した画像を管理職に無断で校外へ持ち出さないこと、盗

撮ができないよう校内環境を整備することを徹底するよう小中学校に指示を出し、保護者にも取り組みを伝えた。

問 最も変化に気付きやすいのは、間違い探しや過去と現在の写真の対比など、決まった位置から決まったものを見ることがある。教室で定期的に同じ視点で、外部の目で見ること

答 教育長 聴講生の方々には、本来の願いである学び直しに専念していただき。服務監督は教育委員会や校長がしたいと思っている。

答 産業建設部長 当該道路は狭い道路である。ごみ集積場を利用する自動車が通行する際、田へ落下する危険性があると地区より聞いており、道路拡幅

問 町道290号線は有効幅2・5メートルから4メートルと狭隘道路である。ごみ集積場の駐車場が290号線沿いにあり、自動車が田に落ちそうになつたことも過去に何度もある。横にあるラバーポールもたびたび田に落ちている。住民の皆さんから一部の狭隘道路を拡幅して欲しいと強く要望があるが、町の考えは。



(町道290号線の一部)

町道290号線の一部拡幅整備は 最善な方法で検討していく



桑政クラブ
いとう たけし
伊藤 猛 議員



の要望が出されている箇所となる。転落防止対策としてラバーポールを設置している。さらなる安全対策として

拡幅整備事業やその他手法を含めて地区と協議し、最善な方法を考えていく。

該道路は狭い道路である。ごみ集積場を利用する自動車が通行する際、田へ落下する危険性があると地区より聞いており、道路拡幅

義務教育での登校渋り対策は

前兆の把握を重視し取り組む

新政クラブ
たかはし れお
高橋 恋央 議員



問 コロナ禍以降、児童・生徒が『登校を選択できる』状況が広がる中で、外から見ると『甘え』に見える登校渋りもあると聞く。一概にそうではないと思うが、行くのが面倒な状態が続いている中で登校しにくくなる悪循環も考えられる。

答 教育長

「登校渋り」の状態の児童生徒は学校に行ける日もある

れば、行こうとする気持ちはあるものの、不安や緊張などの心理的な理由から、登校することに強い抵抗や時間がかかる状態であるものとして捉えている。

登校前の体調不良の訴えや遅刻の増加、表情の変化等、不登校の前兆となるサインを早い時間に把握することを重視している。登校渋りの要因は、友人関係、勉強がわからない、発達特性、家庭環境等さまざまの要因で起こる。ゆっくり焦らず、自分のペースで無理をさせないような対応を

とっている。前兆を把握することが何よりも早く発見することを重視して、担任による面談、スクールソーシャルワーカーや支援性、家庭環境等さまざまな要因で起こる。ゆっくり焦らず、自分のペースで無理をさせないような対応を

問 空き家支援事業の活動は。

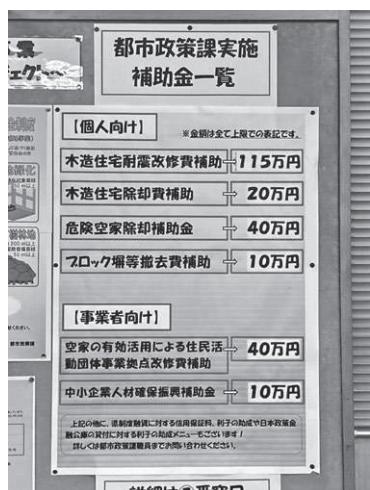
答 産業建設部長 危険空き家除却費補助制度を設けている。令和7年度から新たに、木造住宅の除却に関する家庭支援等、家庭、学校、関係機関が連携して支援し、不登校にならないように取り組んでいく。

問 空き家支援事業の活動は。

答 産業建設部長 危険空き家除却費補助制度を設けた。危険空き家除却費補助に関しては、令和6年度2件の実績、木造住宅除却費補助に関して、5件の申請を受け付けている。

問 所有者ワンストップ相談窓口設置は。

答 産業建設部長 空き家相談窓口は、公益社団法人愛知県宅地建物取引業協会と協定を結び、空き家所有者の負担が少なくなるよう努めている。



(都市政策課実施補助金一覧)

空き家対策の取り組みは

除却費補助制度を新設した

桑政クラブ
まみや みきお
間宮 幹男 議員



巾下用排水路の調節池築造計画は

最低でも2年先送りとなる



桑政クラブ
こんどう ひろし
近藤 裕 議員



(氾濫した巾下用排水路下流域)

答 産業建設部長 現在、県の事業として行っている昭和用水地区の水質保全対策事業についての工事期間が、2年延長になり、令和12年までとの報告を事業主体である愛知県から受けた。これにより、その後の巾下用排水路の調節池築造計画も最低でも2年先送りになる。

問 第5次扶桑町総合計画において、令和7年度から9年度の実施計画では、令和8・9年度に、高雄字定光寺地内に調節池を設置するための基本計画・詳細設計業務を行うとある。令和8年度の実施内容は。

問 現状、巾下用排水路(横2・4m×縦1・2m)に満水した雨水が最も下流部の県道横断部に流入した場合、その流下能力に問題はないか。

答 産業建設部長 県道草井羽黒線横断部の入口は、横1・2m、縦1・2mのボックスカルバートであり、上流部の断面積と比較すると、この入口部分は断面不足を生じている。

答 健康福祉部長 生活、健康、経済面等の課題がある。高齢者を見守り支えるため、行政による福祉サービスを提供することのか、民生委員の協力を得ながら必要に応じて訪問等による安否確認をはじめ、緊急時に速やかに対応できるよう

問 本町における独居老人の現状は。

答 健康福祉部長 令和7年10月末現在、65歳以上の高齢者は9022人で、昨年同時期と比べ45人減少しているが、独居老人世帯は、81世帯増加している。見守りの課題は。

問 現在行われている見守りの課題は。

答 健康福祉部長 生活リズムセンサー、ペンドントボタンなどの機器を用いて、連絡先の確認や親族の把握等に努めている。



(緊急通報の案内チラシ)

今後も高齢化が進み、想定もしていないうな課題が増えてくることを認識し、生活支援や身元保証、死後事務委託などを担っている民間サービスも活用しながら見守り体制を強化していくと考えている。

問 支援の具体的取り組みは。

答 健康福祉部長 安否確認、配食サービス、緊急通報システム、寝具・洗濯乾燥サービスなどの福祉サービスの提供をしている他、必要なに応じた支援ができる体制を整備している。



桑政クラブ
いちはし ひでお
市橋 英男 議員



ひとり暮らし高齢者の見守り支援は

支援体制の整備強化

難聴高齢者に対する対策は

増額補正で対応

日本共産党
あらき こうぞう
荒木 孝三 議員



問 高齢者となつて一番困ることは、聴力が低下してくること。特に周囲が、騒がしい場所での会話をすると聞き取りが難しくなる。補聴器所有率は、14・4%と低く、難聴高齢者の年齢構成比は65歳以上74歳以下で23・2%であり、75歳以上で46・2%である。

答 健康福祉部長 今補聴器助成制度の考えは。

答 健康福祉部長 今年度の予算支出は、24万円を見込んでいた

が、申請者の増加により、9月定例会で12万円の増額補正を計上した。しかし、更なる予算執行が見込まれ、12

月定例会で増額補正をお願いしている。今後の高齢者の増加に伴い、引き続き難聴高齢者補聴器購入費助成事業の周知啓発に努める。

問 補聴器は高額であるため、高齢者には大きな負担となる。今後の助成金拡大は。

答 健康福祉部長 聴力機能の低下が見られる高齢者の生活支援対策は、近隣市町より先行し、令和6年度当初より高齢者の支援対策として医療機器認証である補聴器助成制度に取り組んでいる。助成金の拡大ではなく、現行制度で対応をしていく。



問 公共施設等は、今後更新時期を迎える一方、財政は厳しい状況にある。長期的な視点をもつて施設の更新・統廃合・長寿命化などに取り組めるよう公共施設等適正管理推進事業の取り組みは。

答 総務部長 公共施設の計画的な管理を進めることで、維持管理・更新等にかかる財政負担を軽減・平準化するための財源として、「公共施設等適正管理推進事業債」という地方債がある。この対象事業として、公共施設の「集約化・複合化事業」、「長寿命化事業」、「転用事業」などがあるが、今



(解体予定の高雄シルバーハウス)

令和8年度予算編成の取り組みは

公共施設等適正管理 推進事業債の活用

新政クラブ
せんだ かつふみ
千田 勝文 議員



年度から新たに「集約化・複合化等に伴う除却事業」が創設された。令和8年度に高雄シルバーハウスをサングリーンハウスに集約することに伴う高雄シルバーハウスの取り壊し工事を予定しているが、この事業に対して、

「公共施設等適正管理推進事業債」を活用したいと考えている。事業費の90%を借り入れることができ、その元利償還金の50%分が後年度の普通交付税の基準財政需要額に算入されている。

ふそう議会だより 267号／令和8年2月1日 12

交番増設の考え方

設置要望に関する協議を続ける



桑政クラブ
かねまつ のぶゆき
兼松 伸行 議員



問 本町交通防犯の現況と対策は。

答 生活安全部長 町内では、特に自転車事故が増加しており、19歳以下が最も多く、次に65歳以上が多い状況である。対策として、子どもや高齢者を対象に警察署と連携して、交通安全講話を開催し安全意識の向上を図っている。犯罪現況としては、特殊詐欺・SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺など大きな社会問題になっている。対策としては、警察署と連携して、商業施設でのチラシ配布や、ひまわり安心情報メールで犯罪発生の即時配信を



(柏森交番)

行い広く周知している。また、駅周辺や主要交差点への防犯カメラの設置も進めている。

問 本町の交番増設の考え方は。

答 生活安全部長 交番及び駐在所は、県警本部が人口、面積や事務発生状況、治安情勢を考慮し設置するもの

である。引き続き警察と設置要望に関する協議を続けるとともに、パトロールを増やすなど警察との連携強化に努めていく。また、交番では様々な相談事件が入ってくるため警察相談専用電話#9110ダイヤルの周知も取り組んでいく。

中学校部活動の地域展開は

来夏、地域クラブ活動に全面展開



ふそう立志会
おおかわら みつお
大河原光雄 議員



問 国の有識者会議で、令和8年度からの6年間を「改革実行期間」として確実に休日の地域展開へ着手する方向性が示されたが、本町の移行計画は。

答 教育長 今後、様々な意向調査を行い、来年度の4月に実施案を保護者にお伝えできるように進めていく。

その後、6月に地域クラブへの入会希望調査を生徒に行い、夏の大休日の部活動は行わず、全面的に地域クラブ活動に展開していく。



(来年度から地域クラブ活動へ)

問 保護者負担の金額設定は。

答 教育長 保護者向けアンケートの結果より、来年度スタート時点で、年会費4千円、活動1回500円で計画している。できる限り安価にし、参加頻度も各家庭で選べるよう設定した。

種目に所属する生徒への支援を行つ。

キラリ★ まち人紹介



扶桑町スポーツ協会 会長
柏森在住
原 直信さん

〈スポーツで扶桑町に活気を!〉

私は「柔道」を通じて礼儀や努力の大切さを学び、スポーツが人を育て、地域をつなぐ力を持つことを実感してきました。扶桑町には多彩な競技や活動が根付いており、子どもから高齢者まで誰もがスポーツを楽しめる環境があります。この恵まれた環境を活かし、健康づくりや交流の輪を広げ、町全体を元気にする取り組みを進めていきます。

2026年秋には第5回愛知・名古屋2026アジアパラ競技大会が開催されます。扶桑町からも「スポーツの町」として大会を盛り上げ、地域の誇りを発信できるよう努めてまいりたいと思います。皆様と共に汗を流し、たくさんの笑顔と活気でわが街・扶桑町をさらに輝かせたいので、町民の皆様ぜひスポーツをして健康年齢を延ばしましょう!

〈声の広報づくり〉

あめんぽ赤いなアイウエオ···

おなかに力を入れ、口をしっかりと開けて大きな声で読んでいると心があたたかくなり、元気になります。

生涯学習講座の「朗読」を受講したことがきっかけで生まれた「朗読グループあいうえお」。このグループに参加することにより、多くの人と出会い、活動の場が広がりました。子ども達と楽しむおはなし会、全員でひとつの作品を読む文化祭、大人の方々にも聞いていただきたいとそれぞれの思いを込めた朗読発表会、声の広報づくりなど。

これからも、地域の皆様とのふれあいを大切に、多くの方々の支えに感謝し、声に出て本を読み続けます。



朗読グループあいうえお
高雄在住
松原 孝子さん

お知らせ



ご注意!

議員の町内への寄附は禁止。
有権者が求めることも禁止です。

「会議録検索システム」インターネット配信

扶桑町役場ホームページで議会会議録をインターネット配信していますので、ご利用ください。

扶桑町役場
ホームページ



扶桑町議会



扶桑町議会
会議録検索システム



●12月定例会分は、3月2日に更新を予定しています。

3月定例会の日程(予定)

3月 2 日(月)	開会・提案説明
3月 9 日(月)	一般質問
3月10日(火)	一般質問
3月11日(水)	議案質疑
3月12日(木)	予算決算特別委員会 (総務経済所管分)
3月13日(金)	予算決算特別委員会 (福祉教育所管分)
3月16日(月)	総務経済常任委員会
3月17日(火)	福祉教育常任委員会
3月25日(水)	委員長報告・討論・採決・閉会
場所:扶桑町役場2F議場等	
時間:午前9時30分から	
(日程は変更になることがあります)	